

## 令和7年度村づくり懇談会 記録シート

日 時：3月13日（金）18：30～20：00

対象地区：上里・農場・ペンション・原山

会 場：八ヶ岳自然文化園

いただきましたご意見の概要及び回答は以下のとおりです。

発言者のご意見
入区の問題についてはただの現象だと思う。移住者の価値観の多様化の一つが入区問題だと考える。多様化に伴い多種多様なトラブルも発生している。村はこの多様化についてどのように取り組むのか？
村の回答
参考にしたい。多様化については尊重すべき。村としても良く考えていく必要がある。
発言者のご意見
区長会でも SNS で区・自治会の活動について発信し、活動内容の透明性を図っているのが6地区。ただ SNS での発信をスタートしているが、費用面で6万の負担がある。茅野市はデジタル回覧板を使用。この地区は有線の活用が少ない。取り入れられないか。
村の回答
他地区からも要望がある。村のプラットフォームが欲しい。DX 推進室へ相談してみる。
発言者のご意見
質問として自治会の加入率が下がっているとのことだが、加入率100%でなければならないのか？原山は50%の加入率。人口は増加している。提案として自治会の負担の点。各区・自治会の共通の基盤を作るのはどうか。プラットフォーム。共通の事務員を村で雇用し、担当していく。防災面に関しては区で負担していくのはどうか。
村の回答
共通地盤があれば負担が減るとするのは他地区でもご意見いただいた。質問については、防災の面では100%入って欲しい。役場窓口での案内をもっとやっていく必要がある。例として、大久保は100%入区。住宅・土地があれば必ず。
共通事務員について、集落支援員を柳沢・払沢、判之木で事務の手伝い・課題解決をしていく人員を配置する。その結果を今後共有していきたい。

<p>発言者のご意見</p>
<p>残したいところは、自治会費が年間 1,000 円、そして 1,000 円戻している。縛りが少ない。ただ役員になると大変という意識がある。課題としては、移住者が多い。管理別荘地に住むと自治会がなくても済んでしまう。管理事務所は防災に関しては、逃げてくださいとなる。自治会の必要性や負担について理解されない。わずらわしさを必要としない場所に来たという人もいる。自治会が必要とされるには情報発信が必要。役員になりたくないという人がいるが参加型で自治会員の人も手伝いができるようにしていく必要がある。工夫・改善として参加手当が必要。村に協力してほしいことは、情報発信の基盤作りをしてほしい。防災含め地域が繋がっている必要がある。隣の人について知らないこともある。</p>
<p>村の回答</p>
<p>情報発信の基盤についてはしっかり考えたい。原山地区は広い。もう少し分かれても良いのかもしれない。地区の端と端では遠くなってしまうので自治会で検討してほしい。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>村に協力してほしいことは、区費はなぜ高いのかという疑問がある。村の方で区についてレクチャーする資料等が必要。東京から来た人はそこで初めて知る。丁寧にやってほしい。区としても入区について改善すべきこと沢山ある。出払い・役員・交流はしたくない。防災については区で取り組む必要がある。区に入らない理由や、したくないことについて柔軟性をもっていった方が良い。現在区費は年間 2 万 2 千円。区費についてはバリエーションを持たせるのはどうか。出払い・役員やる、出払いだけやる、参加しないなどで変える。引っ越してきてすぐは家庭の負担が大きい。区費の補助（一時金）などによる補填もあれば良い。</p>
<p>村の回答</p>
<p>転入された方への周知はしっかりやっていきたい。役員はやらないけど区に入る中新田の例もある。中新田区は区に入ってないけどゴミだけ捨てたい人は、区長へ連絡してもらおうようにしている。区費については地区で全く異なる。各地区で工夫しているように感じる。子育てしていると支払うのが大変等の多様性についても対応が必要。</p>
<p>発言者のご意見</p>
<p>年配が多い。区として 50 年くらい経過。報酬制にして若い人を引っ張り出している。この先長くは続かない。雪かきも負担。手を上げてくれる人で成り立っているが、できなくなったら隣接地区から人手を借りるのか、行政から動いてくれるのかという不安がある。</p>
<p>村の回答</p>
<p>少子化の影響はある。判之木区は役員を皆がやっている状態。南原と一緒にいるの</p>

も手か…という意見もある。北三区は財産区があり、加入費様々。一概に隣接地区と一緒にすることも難しいという意見もあった。
発言者のご意見
ペンションは観光地区。手入れをしていかなければならない。全盛期 90 戸以上がペンション。現在は 20~30 戸。観光地として残したいのか。
村の回答
はい。
発言者のご意見
自治会の役割は何かということが入区しないと分からない。恩恵を受けていたのかわからなかった。村との行政サービスとの線引きが不明。自治会は一部を担っているというのを伝え聞いたことがある。村が担当すること・自治会で対応することについて対応表が欲しい。整理が必要。30 年前とは異なるので、再定義が必要。
村の回答
美しい景観を守るためには、区・自治会の仕組みは必要。除雪については手が回らず丁場にして回している区もある。広報の配布を区・自治会長にお願いしている。役割分担を明確にできることがあればそのようにしていきたい。
発言者のご意見
加入している人でも境ができる。30 年間で区は来た人に考え方を迎合している。前は自分たちの中に入れてやるという意識だった。デジタルを使うなど動きが速い。地域の活動は強制的にできないかもしれないが、参加することで生活しやすくなったことがある。加入しないと分からないことがあるが、そうでなくても分かるように情報発信が必要。道路・ごみの清掃については、目に見えて分かりやすい。加入してなくても参加する必要がある。利益のある部分とそうでない部分を精査する必要がある。ペンション区の話はショックだった。上里は以前 14 戸だった。時代によって区も変化していくことが必要。
村の回答
上里は現在 180 戸くらい。時代に合わせてウェルカム宣言していくことも良いと思う。
発言者のご意見
自治会と村との関係について、自治会は村の末端の業務を担う事もあるという。一方を手助けするだけではない。区の末端の仕事も村でしてほしい。道路を直したりなど。自治会の細かい要求にもこたえてくれる体制があると村全体が様変わりするかもしれない。
村の回答
難しい案件。細かい要求とは具体的に何か。

発言者のご意見
木を植えてほしい、水質改善、隣家の年配が困っているから手伝いをしてほしい。民生委員頼らずに解決できるように。財源があり、できることとできないことはある。ただ、Win-Win な関係については考えていきたい。
村の回答
担当課はいつでも意見聞くように意識改革する。村としても年4回意見交換の場を作っている。その機会にしっかり聞いていきたい。
発言者のご意見
千葉県松戸市で「すぐやる課」を創設。役場にワンポイントでそこへ行けばすぐつながる窓口が必要ではないか。言われたらすぐ対応するような。新たな移住者の入区については、このような方が来ますという連絡があっただけ。行政も一緒に入区勧誘についてはしてほしい。区の範囲外の移住者についても連絡がある。ハッ手の方はそこまで持っていけないから区に入れなかった人がいる。区は生活圏内である必要があるのではないか。出払いについては、入区してない人、別荘の人へも案内を行い、出席する必要がある。きめ細かいコミュニケーションが必要。
村の回答
松戸市のすぐやる課については知っている。村で出来るかは要検討。区長への移住者の連絡についてはもっと丁寧にする必要がある。区のエリアが明確でない箇所（エコーライン沿い）は2年前に大きな地図を作成し、線引きした経緯がある。村へも確認して案内できるようにしたい。出払いの関係は区の方でも検討してほしい。
発言者のご意見
高齢の方が多い。現役で子育てしている人が重要。こういった会に出席したいけど、子供がいるからと欠席になっている人が多い。村の難点は現状維持。移住者の意見も聞いてほしい。意見を言える場が大事。役についても原山自治会長のように手を挙げる人がいる。意見もいっぱい出るはず。つながりがあれば問題解決できることは多い。人とのつながりは大切。良さを広げていったらよいと思う。子供と高齢者のつながりを増やしてほしい。行政に頼むのも手だが、自分たちでどうにかする必要もある。
村の回答
話し合いの場所つながりの場所の必要性を感じる。冬のスポーツ祭に原山自治区が初参加してくれた。楽しまれたように見えたので今後も村のイベントに参加してほしい。地区のお祭りがあると良い。ペンション・原山・観光局でやったようななど焼きとか。

発言者のご意見
コミュニケーションが取れていないことを感じる。原山は管理別荘地とおおかつら・他とでつながりや意見の持ち方は違う。下の方は自分たちで道の管理をしているが高齢化で外部へ委託している。ただ費用の負担が課題。別荘は管理費出しているから不平等との意見があり、このことについて共通の負担にすることへ同意が得られない。様々な断裂がある。高齢者と現役世代との情報も分断している。猫の足の活動も若い人は知らない。コミュニケーションの断絶が課題。そのためには、コミュニケーションがとれる場が実際の場合とソフトツールでほしい。互いの情報発信が必要。
村の回答
コミュニケーションの部分で、村で年齢ギャップへの対応もしていきたい。
発言者のご意見
つながりにこだわってやっている。今度ひめばらを借りて懇談会をする予定。こうやったら参加するのではという点では、難しいかもしれないが飲み会・子供会など。声を上げやすい相談しやすいのが大事。
村の回答
つながりのための取組、引き続きお願いします。
発言者のご意見
集落支援員について教えてほしい。
村の回答
国の制度を利用。地域の課題解決をするのが業務。ごみの関係、子供の関係、入区の関係等も業務の一部である。勤務時間は今わからないが、会計年度任用職員という立場で雇用する。
発言者のご意見
普段は役場にいるか。3地区を1人が担当するか。
村の回答
区で推薦してもらって雇用する。各地区に1人である。

